

2023年12月期 第1四半期 決算説明資料

2023年5月10日
サイバーコム株式会社
東証スタンダード<3852>

1. 決算概要	P 3
2. 営業利益増減分析	P 4
3. セグメント別業績	P 5
4. 貸借対照表	P 6
5. 詳細セグメント別売上高	P 7
6. 顧客別売上構成比	P 8
7. 参考情報		
(1) 業績予想	P 9
(2) 配当の状況	P 10
(3) 自己資本当期純利益率	P 11
(4) 中期業績予想	P 12
(5) プロダクトの紹介	P 13
(6) サステナビリティへの取り組み	P 14
(7) 会社概要	P 15
(8) これまでの歩み	P 16

1. 決算概要

2023年12月期 第1四半期実績

(単位：百万円)

	前年同期 (22/01-22/03)	当期 第1四半期 (23/01-23/03)	増減／増減比	
売上高	4,155	4,284	128	+3.1%
営業利益	448	507	59	+13.2%
営業利益率	10.8%	11.8%	—	—
経常利益	453	508	54	+12.0%
経常利益率	10.9%	11.9%	—	—
四半期純利益	314	352	37	+11.8%
四半期純利益率	7.6%	8.2%	—	—
1株当たり 四半期純利益	39.25円	43.89円	4.64円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	5.1%	5.2%	0.1%	—

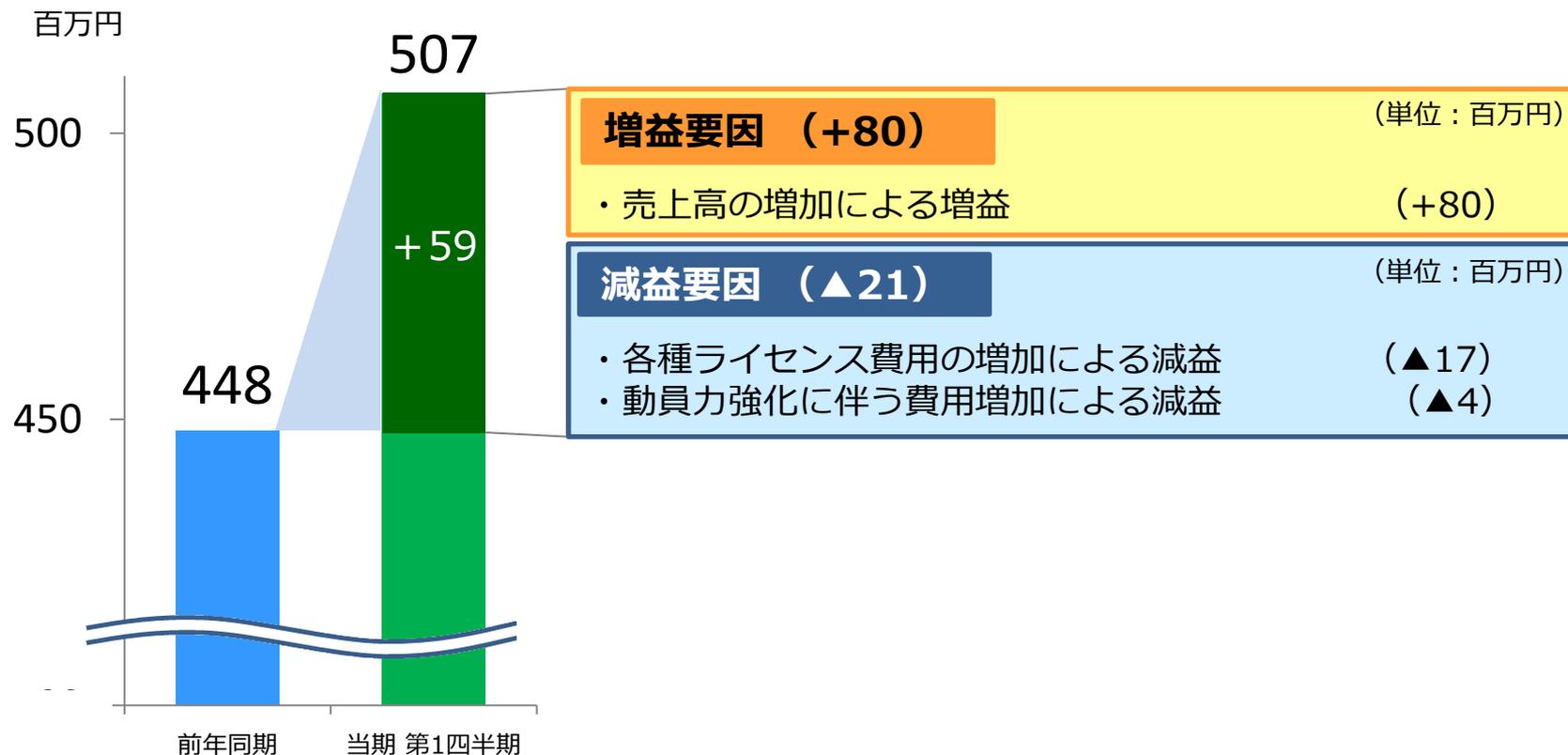
◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業で制御ソフトウェア開発及び業務ソフトウェア開発が好調に推移したことから42億84百万円（前年同期比 3.1%増）と**増収**になりました。

◇営業利益は、増収効果により5億7百万円（前年同期比 13.2%増）と**増益**になりました。

◇四半期純利益は、3億52百万円（前年同期比 11.8%増）と**増益**になりました。

2. 営業利益増減分析

2023年12月期 第1四半期実績



◇ 営業利益の増加要因

各種ライセンス費用、動員力強化に伴う費用の増加があったものの、増収効果により前年同期に比べ増益となりました。

3. セグメント別業績

2023年12月期 第1四半期セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前同差	前同比	実績	利益率	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	3,424	79.9%	135	+4.1%	654	19.1%	61	+10.4%
通信ソフトウェア開発	451	10.5%	▲325	▲41.9%	64	14.3%	▲51	▲44.5%
制御ソフトウェア開発	899	21.0%	153	+20.6%	164	18.2%	30	+23.0%
業務ソフトウェア開発	2,074	48.4%	307	+17.4%	425	20.5%	82	+24.1%
サービス事業	852	19.9%	▲6	▲0.8%	147	17.3%	13	+9.8%
ファシリティ事業	6	0.2%	0	0.0%	2	40.4%	0	+1.6%
本社調整 (※)	—	—	—	—	▲297	—	▲15	—
合計	4,284	100.0%	128	+3.1%	507	11.8%	59	+13.2%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

- ◇通信ソフトウェア開発は、通信基盤開発案件が一巡したことによる反動減により、売上高は前年同期比41.9%減、セグメント利益は前年同期比44.5%減と**減収・減益**になりました。
- ◇制御ソフトウェア開発は、車載ソフトウェア開発、半導体製造装置開発等の案件規模拡大により好調に推移し、売上高は前年同期比20.6%増、セグメント利益は前年同期比23.0%増と**増収・増益**になりました。
- ◇業務ソフトウェア開発は、金融系、公共系、製造系及び流通系等のシステム開発案件が好調に推移し、売上高は前年同期比17.4%増、セグメント利益は前年同期比24.1%増と**増収・増益**になりました。
- ◇サービス事業は、SIサービスにおいて第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件の一巡による反動減があるものの、仮想化案件、クラウド移行案件やネットワーク構築案件等は好調に推移いたしました。また、自社プロダクトである「Cyber Smart」シリーズ製品は、クラウド使用料の増加等により底堅く推移いたしました。

4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2022/12	第1四半期末 2023/03	前期末差
流動資産	7,082	6,756	▲325
現金及び預金	2,005	1,250	▲755
受取手形、売掛金及び契約資産	3,420	3,483	62
有価証券	1,500	1,800	300 ①
商品	4	14	9
仕掛品	50	55	5
その他	100	152	52
固定資産	3,678	3,519	▲158
有形固定資産	2,435	2,429	▲6
無形固定資産	12	9	▲2
その他	1,230	1,080	▲149 ②
資産合計	10,760	10,275	▲484
流動負債	2,606	1,921	▲684
買掛金	603	659	56
未払費用	361	314	▲47
未払法人税等	150	23	▲126 ③
賞与引当金	1,013	316	▲697 ④
役員賞与引当金	39	8	▲31
その他	437	598	161
固定負債	1,465	1,490	24
退職給付引当金	1,420	1,443	22
役員退職慰労引当金	45	46	1
負債合計	4,071	3,411	▲660
純資産合計	6,688	6,863	175
負債純資産合計	10,760	10,275	▲484

主な増減要因

- ① 合同運用指定金銭信託での運用資金増加
- ② 春季賞与支給等に伴う繰延税金資産の減少
- ③ 2022年度 法人税等納付による減少
法人税等 ▲65百万円
県民・市民税 ▲82百万円
- ④ 春季賞与及び一時金支給による減少
▲1,013百万円
秋季賞与引当による増加
316百万円

◇ご参考

	2022年12月末	2023年3月末
1株当たり純資産	833.88円	855.78円
自己資本比率	62.2%	66.8%

5. 詳細セグメント別売上高

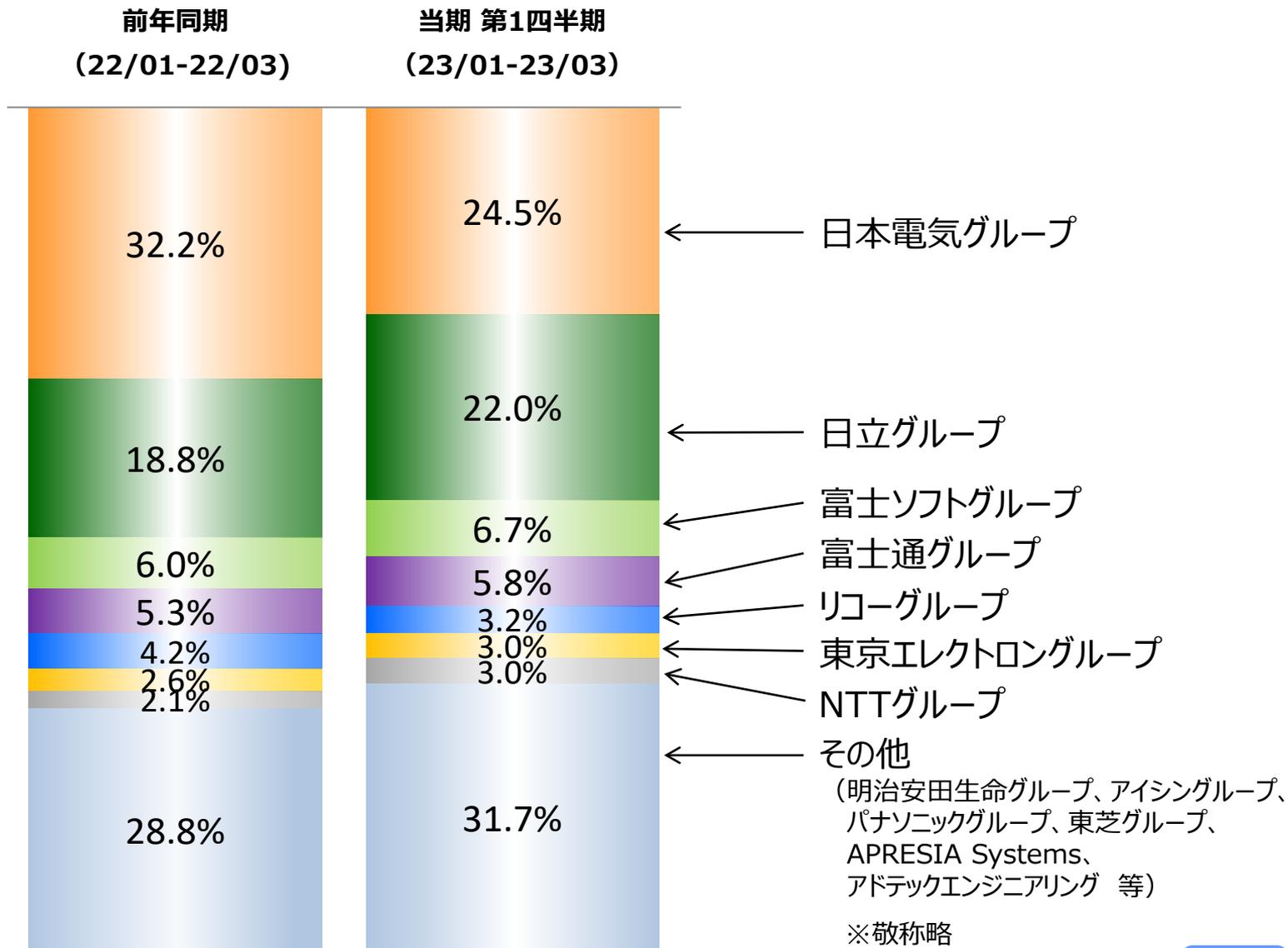
セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2022年12月期			2023年12月期			
	第1四半期 (2022年1月～3月)			第1四半期 (2023年1月～3月)			
	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	3,289	79.2%	+12.4%	3,424	79.9%	135	+4.1%
通信ソフトウェア開発	776	18.7%	+1.6%	451	10.5%	▲325	▲41.9%
通信基盤	684	16.5%	+10.9%	372	8.7%	▲311	▲45.5%
その他通信	92	2.2%	▲37.4%	78	1.8%	▲13	▲15.0%
制御ソフトウェア開発	745	17.9%	+20.5%	899	21.0%	153	+20.6%
車載	351	8.5%	+8.4%	433	10.1%	81	+23.2%
その他制御	393	9.5%	+34.0%	465	10.9%	72	+18.4%
業務ソフトウェア開発	1,767	42.5%	+14.4%	2,074	48.4%	307	+17.4%
金融	606	14.6%	+43.4%	723	16.9%	117	+19.4%
公共	302	7.3%	+21.6%	322	7.5%	20	+6.7%
製造	183	4.4%	▲26.4%	260	6.1%	77	+41.9%
情報通信	220	5.3%	▲7.5%	237	5.5%	16	+7.6%
流通	174	4.2%	+64.5%	176	4.1%	1	+0.9%
医療	112	2.7%	▲26.6%	156	3.6%	43	+38.4%
その他業務	166	4.0%	+33.8%	197	4.6%	30	+18.4%
サービス事業	859	20.7%	+9.7%	852	19.9%	▲6	▲0.8%
ファシリティ事業	6	0.2%	+0.3%	6	0.2%	0	0.0%
合計	4,155	100.0%	+11.8%	4,284	100.0%	128	+3.1%

6. 顧客別売上構成比

顧客別売上構成比（前年同期比較）



7. 参考情報（業績予想）

2023年12月期 業績予想

(単位：百万円)

	前期実績 (22/01-22/12)	業績予想 (23/01-23/12)	増減／増減比	
売上高	16,628	17,600	+971	+5.8%
営業利益	1,054	1,200	+145	+13.8%
営業利益率	6.3%	6.8%	—	—
経常利益	1,084	1,200	+115	+10.7%
経常利益率	6.5%	6.8%	—	—
当期純利益	804	810	+5	+0.7%
当期純利益率	4.8%	4.6%	—	—
1株当たり 当期純利益	100.25円	100.98円	0.73円	—

通期の業績予想につきましては、2023年2月10日発表のとおりで変更ありません。

7. 参考情報（配当の状況）

配当の状況

「安定した配当」を継続して実施

- ・増配の継続
- ・配当性向の向上（目標30%）
- ・純資産配当率の向上



	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2023年12月
1株当たり配当金	15円	17円	18円	20円	22円	30円
配当金総額	120百万円	136百万円	144百万円	160百万円	176百万円	240百万円
配当性向	28.8%	24.4%	26.3%	22.8%	21.9%	29.7%
純資産配当率	2.7%	2.8%	2.7%	2.8%	2.8%	3.4%

予想

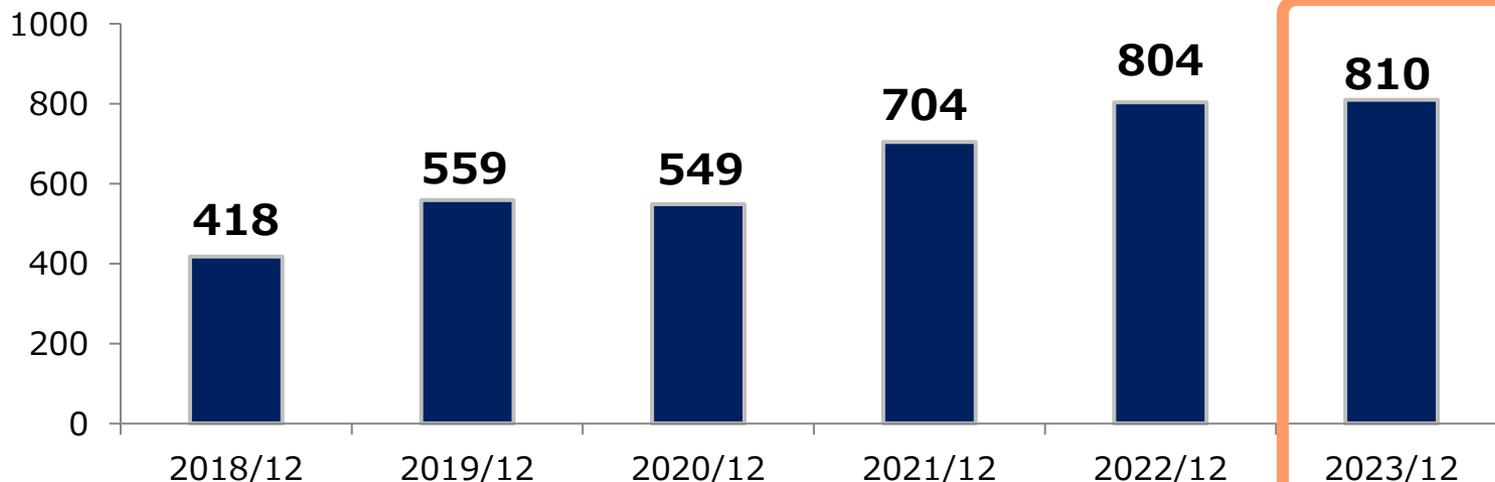
7. 参考情報（自己資本当期純利益率）

自己資本当期純利益率（ROE）

収益確保によるROE向上

本業での収益確保（営業利益計画の達成）、ROEの向上

（単位：百万円）



	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2023年12月
営業利益	608百万円	746百万円	827百万円	953百万円	1,054百万円	1,200百万円
当期純利益	418百万円	559百万円	549百万円	704百万円	804百万円	810百万円
1株当たり 当期純利益	52.16円	69.75円	68.45円	87.86円	100.25円	100.98円
ROE	9.3%	11.5%	10.4%	12.2%	12.6%	11.6%

予想

7. 参考情報（中期業績予想）

中期業績予想

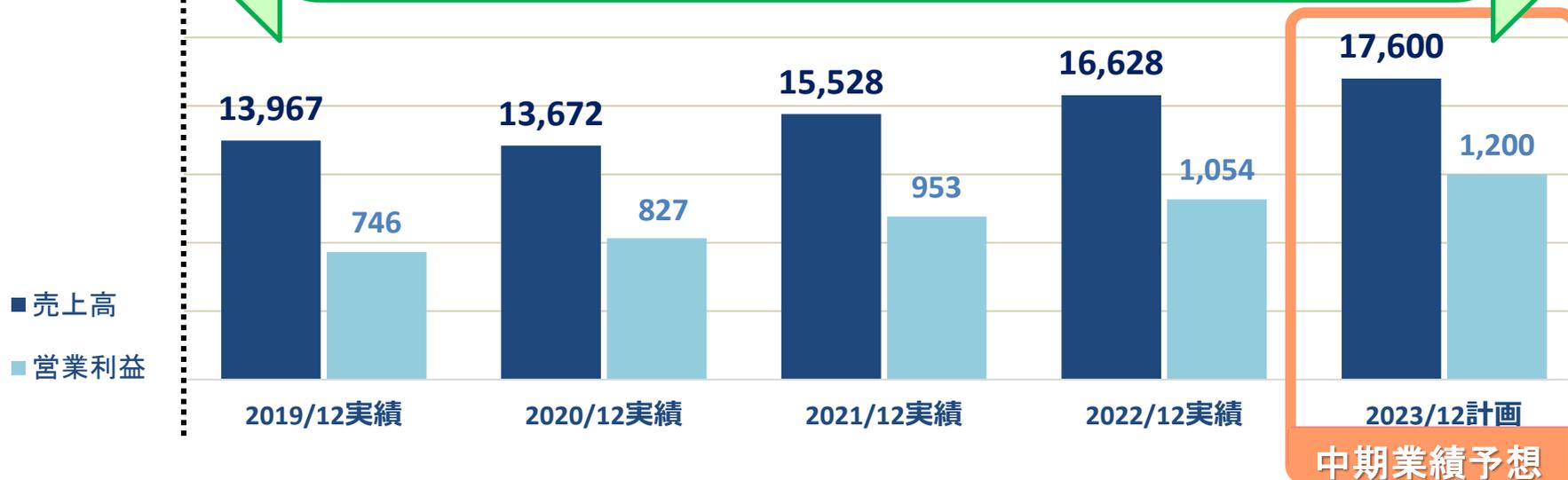
※今期は現在の中期計画（2021年～2023年）の最終年度となります。

2022年12月期実績により2023年12月期計画を見直し

（単位：百万円）

	2019年 12月期実績	2020年 12月期実績	2021年 12月期実績	2022年 12月期実績	2023年 12月期計画
	中期計画：2021年～2023年				
売上高	13,967	13,672	15,528	16,628	17,600
営業利益	746	827	953	1,054	1,200
（営業利益率）	5.3%	6.1%	6.1%	6.3%	6.8%

2019年～2023年までの
平均成長率(CAGR)予想：売上高+5.9%、営業利益+12.6%



7. 参考情報（プロダクトのご紹介）

『Cyber Position Navi』

屋内外対応の位置情報ソリューションサービス

ビーコンとスマートフォンで作る新しい世界

リアルタイムで
人やモノの場所を感知

ビーコンとスマートフォンを使用しオフィスや倉庫の屋内外における位置情報を管理するソリューションです。
様々な場面での業務効率化を実現します。

2022年11月 Oracle Cloud版の販売開始！

オフィスでの効率化
ジオフェンシングで効率化
倉庫での効率化



The advertisement features a cityscape background. On the left, a man in a suit works at a desk. On the right, a warehouse interior is shown with people and equipment. Three circular callouts highlight 'Office efficiency', 'Geo-fencing efficiency', and 'Warehouse efficiency'. A QR code is located in the bottom right corner.

『Cyber Position Navi Plus』

高精度な屋内位置情報ソリューションサービス

工場・倉庫からオフィスまで
誤差10cm の高精度で
人やモノの動作を正確に把握

屋内位置情報ソリューション
Cyber Position Navi Plus
—ポジナビプラス—

- ⊙ 小規模から大規模空間までポイントで位置がわかる
- ⊠ 詳細な移動軌跡から動線解析できる
- ⊙ ヒートマップで、より視覚的にわかる
- ⌚ 滞在時間、移動時間がわかる



The advertisement shows an isometric view of an office space with people at desks and in a meeting room. A QR code is located in the bottom right corner.

7. 参考情報（サステナビリティへの取り組み） *Cyber Com*

サステナビリティへの取り組み

当社では、事業活動・企業活動を通じて様々な社会の課題解決に向けた取り組みを実施しております。

また、「環境経営方針」を設定し、社員にSDGsの意味や重要性を伝え、身近な活動への協力を呼びかけています。



社内での取り組みの一例

働き方改革



自社プロダクトを活用したリモート環境による在宅勤務の徹底やオンライン会議システムを利用した積極的な営業活動、採用活動、社員教育を実施し、ニューノーマルな働き方を実現しました。

資源の削減



お客様のデジタル化や業務効率化などを推進すると共に、社内では帳票の電子化やシステムを利用した資産管理を実現し、紙資源の削減や工数の削減に繋がりました。

その他にも様々な取り組みを行っております。詳細は当社コーポレートサイトにてご紹介しておりますので、ご参照ください。
(<https://www.cy-com.co.jp/company/csr.html>)

7. 参考情報（会社概要）

会社プロフィール

名称：	サイバーコム株式会社 Cyber Com CO.,Ltd.
所在地：	本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル 横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34
設立：	1978年12月4日
代表者：	代表取締役社長 新井 世東
資本金：	3億99百万円
社員数：	1,342名（2023年4月現在）
事業内容：	ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

2023年12月期の主なニュース

日付	内容
2023/05/08	『名古屋オフィス』を開設
2023/03/24	第45回定時株主総会を開催
2023/02/27	2022年12月期 決算説明会の動画を配信開始
2023/02/10	2022年12月期 決算発表
2023/01/11	東証コンピュータシステムへ『楽々セキュアコネク』を提供開始

7. 参考情報（これまでの歩み）

これまでの歩み



※株式会社ソフトウェア企画（現当社）を存続会社として、サイバーコム株式会社、ボスシステム株式会社及び有明システム株式会社を吸収合併し、サイバーコム株式会社に商号変更

サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する



当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。